

緊急時対応マニュアル

[活動場所名]

緊急時対応のフロー

倒れている人を発見

近くに行って声をかける

聞くべきこと: 何があったのか、どこか痛いか、名前



傷病者には触らない!

受け答えがしっかりしている

返答なし or あいまい

裏面の【危険な症状】に当てはまるかチェック

YES

【大人の救急協力要請】

- ① 近くの大人を呼ぶ
いなかったら...
- ② 3Fへ大人を呼びに行く

探す時間は
最大**1分**

NO

大人が見つかった

1分以内に見つからない

- ① 近くの大人を呼ぶ
いなかったら...
- ② **スポーツ医科学クリニック**
へ協力要請

クリニック営業時間外の場合
救急安心センターへ電話相談

大人が第一救助者になる

- ① **119**へ電話
- ② **AED**を取りに行く

自分が第一救助者になる

- ① **AED**を取りに行く
- ② **119**へ電話しながら現場へ戻る

第一救助者の指示で周りの人が

第二救助者として119番通報、AED等を補助してもよい

【第一救助者の役割】

- ・ 傷病者の観察
- ・ 応急処置 (胸骨圧迫/AED、止血) * 裏面参照
- ・ 周りの人に指示を与え協力してもらう

【クリニック診療時間】

月-金: 9:00-16:00
土: 隔週
☎ 042-678-3333

【救急安心センター】

☎ **7119**

大人が見つかった

見つからない

大人の補助

救急安心センターの指示を仰ぐ



- ① 中央管理室(042-678-3210)に電話
- ② 運動部活動の責任者に電話し、
状況報告

必要な手当を行う



【119番 救急要請時に伝えること】

1. 「救急です」
* 相手が電話を切るまで、
こちらは電話を切らずに待つ
2. 住所: 東京都八王子市大塚359
(帝京八王子キャンパス第二南門より入り、坂を登って左手)
3. 救急の状況 (例: 人が一人倒れています)
4. 患者の現在の状態と施されている措置 (例: AEDを使っています) 意識がなく
5. 患者のいる正確な場所: 「帝京大学の〇〇〇〇」
6. 自分の名前と電話番号

【救急車の搬入経路確保】

1. 部屋の扉を両側開けておく
2. 救急車が到着するのを
建物入口で待つ



【救急車を待つ間の周りの人の役割: 現場コントロール】

1. 救急車のスムーズな搬入経路の確保
2. 救助者以外は退室を促し、傷病者のプライバシーを守る
3. 中央管理室 (042-678-3210) に救急要請したことを報告
4. 傷病者の靴やカバンを持ってくる (搬送時、付き添いが持参)

救急対応

【危険な症状】

- ・血の海ができそうな出血
- ・けいれん
- ・呼吸が変

*ひとつでも当てはまれば
「危険」と判断



【AED】

蓋を開けて、電源を入れたら、
音声指示に従おう！

【胸骨圧迫】

①みぞおちの上あたりに
両手を組んで置く



② 5cm押し下げ、戻す
*1分間に100-120回のペースで
繰り返す



搬送経路

